

【いこちが好き！】

別府市 K.Nさん

平成20年、私達夫婦は、宮崎県の酪農とぶどうの産地の小林市から仕事の都合で湯の町別府に越して来ました。

当時結婚4年目であった私達は子供が欲しいと思っていましたがなかなか恵まれませんでしたが夫婦で旅行に行ったりと楽しく過ごしていました。

その年は私の念願であった香港に夫婦で旅行に行き香港スターの手形・足形、ブルース・リーの銅像のあるアベニュー・オブ・スターズに行って、ブルース・リーの銅像の横でポーズを真似てみたり、龍の通り道で運氣が上がると云われる超豪華ホテルを見に行ったりと満喫しました。

その年は夏到北京オリンピックがあたりと話題の豊富な一年でした。夏の終り頃、妊娠4ヶ月だと聞かされて驚いたが、過去の流産の経験から少し不安になりましたが「今度は大丈夫」と妻に言うと自分の心の中でも「大丈夫、大丈夫」と強く念じ続けました。

戌の日には大分の高城子安観音様に腹帯を巻いて安産祈願のお参りをしました。

次の年の平成21年3月11日、3138gの元気な男の子を授かりました。

初めて会った時にはか細い声で「オギャー、オギャー」と泣いている息子を目の前にして無事に生まれてくれた事と妊娠中頑張った妻への感謝の気持ちで歓喜に溢れて自然と目頭が熱くなった事が今でも鮮明に記憶にあります。

まだ、首もすわっていない息子を「そーっ」と抱きながら父親になったという自覚も芽生え、これからも尚一層家族を大事にしていこうと決意しました。名前は夫婦2人で悠人に決めました。

最初のうちは子育てに参加するといっても妻から指示されるがままお手伝いという感じでした。

生後10ヶ月を過ぎたころからようやく、風呂に2人だけで入れる様になり、子育てが本格的に始まりました。

風呂の中で歌を歌ったり、お話をしながら身体を洗ったりしていましたが、最初のうちは頭を洗う際すすぎが不十分だったりして、頭にかさぶたを作ったりと悪戦苦闘もしていました。

風呂から出ると絵本の読み聞かせ、ミルクの準備をしたりと徐々に育児に参加していききました。子供と過ごしている時間は子育てもしているつもりだけど自分も少し成長させてくれます。「悠君は何が好き？」と聞くといちごが好きで「いこちが好き」と言っていた頃が懐かしく感じます。

今では口も達者になりお陰様でスクスクと育ってくれて早いもので2歳を過ぎました。電車と自動車が大好きで元気に走り回り本当にかわいい子です。

休みは妻に代って子供と2人でできるだけ遊びに行く様にしています。

別府には子供と行くには近辺に様々ないい場所があります。水族館や別府公園、地獄地帯公園にキジマ高原。子供と一緒に大人も楽しめます。子供との時間は仕事の疲れも癒してくれます。

これからもできるだけ子供と時間・喜び・楽しみを共有していきたいと思います。